

ETAS MDA V8

次世代の計測データアナライザ

新たに開発された計測データ分析ツール MDA V8 を使用すれば、大量のデータが記録されている計測ファイルを効率的に評価することができます。複数のラスタで記録された十万個もの信号が格納されている計測データファイルを素早く開き、迅速に処理します。これを実現するために、新しい MDA には、パイロットユーザーと共同で構築した革新的な操作コンセプトにより、明確に構造化されたユーザーインターフェースと高度なバーチャルオシロスコープが備わっています。たとえば、分析ウィンドウの時間軸に表示されるタイムスライダーを使用して、長時間に渡って計測されたデータのスクロールを直感的に行うことができ、目的の時間帯のサンプルをズームアウトさせることができます。

執筆者

**Dr. Matthias
Gekeler**

ETAS GmbH

MDA 製品マネージャ

Dr. Ulrich Lauff
ETAS GmbH

マーケティング
コミュニケーション
上級エキスパート

ユーザー中心のインターフェース

デザインが一新されたこの新しい MDA のユーザーインターフェースは、使う人の目を引き付けます。MDA V8 メニューのエントリは、Microsoft Office ツールのリボン機能が取り入れられ、ユーザーインターフェースはドイツ語、英語、フランス語、日本語、中国語で使用できます。

デフォルトでは、画面の左右の端にコンフィギュレーション、計測データファイル、信号を管理するエクスプローラービューがあります。計測データの評価は画面の中央部分で、さまざまな分析ウィンドウ（インストゥルメント）を利用して行います。概要をより把握しやすくするために、評価範囲を任意の数のレベルに分割することができます。レベル、分析ウィンドウ、信号を、使用される計測データファイルと関連のある評価コンフィギュレーションとしてまとめて保存することができます。保存された評価コンフィギュレーションは、割り当てられている計測データファイルを置き換えれば簡単に再利用できます。1 つの MDA セッションの中で複数の評価コンフィギュレーションを開くことができます。

さまざまな用途に適応可能

エクスプローラービューも評価範囲や評価範囲内の個々のレベルも、ドッキング／フローティングメカニズムを使用して自由に配置し直して、複数のコンピュータの画面に分配して表示することができます。現在、MDA にはバーチャルオシロスコープとテーブルウィンドウという、時間関連の信号を表示する 2 つの分析ウィンドウが備わっています。オシロスコープの計測表示部を複数のストリップに分割して、各信号をそれぞれ別のストリップに表示することができます。複数のオシロスコープを使用する場合、すべてのオシロスコープの計測値表示部を時間軸に沿って同時にスクロールしたり、すべてのオシロスコープで同じ時間帯を同時にズームアウトしたりすることができます。一方、テーブル表示の方では、個々の計測値の詳細を見ることができます。互いに異なる周期でサンプリングされた信号を比較する場合、ユーザーは実際に計測された値だけを表示するか、またはサンプリングされなかったタイミングの値として補間データを補って表示するかを選択することができます。

このツールでは、同一レベル上の異なる分析ウィンドウ間を素早く行き来できるようにするため、タスクバーに各ウィンドウのサムネイルとプレビューが表示さ

れます。コンフィギュレーションマネージャには、アクティブな評価コンフィギュレーションとそのレベル、分析ウィンドウ、および信号が、エクスプローラー式のインタラクティブなツリー構造の中に表示されます。評価コンフィギュレーションの構成はドラッグアンドドロップ操作で容易に変更できます。ユーザーは計測信号をコンフィギュレーションマネージャやシグナルエクスプローラーなどから、あるいは表示する分析ウィンドウをツールボックスから、ワークレベルにドラッグすることができます。

ユーザーは、計測された信号と関数等を組み合わせた演算シグナルを作成するための計算式をわずか数ステップで入力できます。計算式を入力するために、計算規則を自由に定義して任意のファンクションで結合できる直観的なフォーミュラエディタが用意されています。

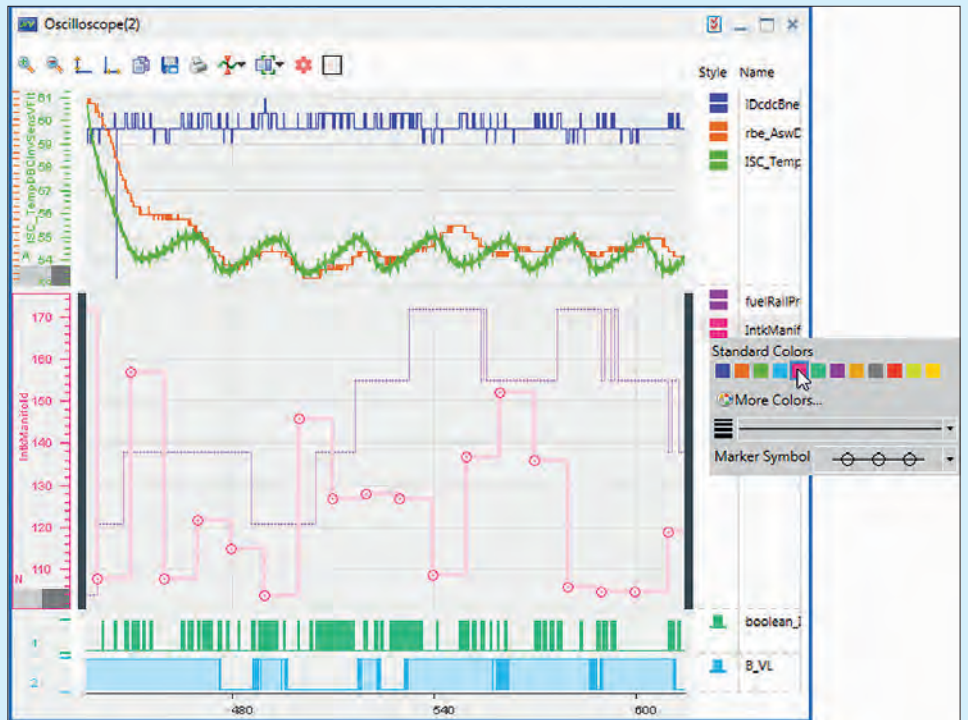
MDF に対応

MDA V8 では MDF (Measurement Data Format) ファイル形式のすべてのバージョンで読み取りと書き込みができます。特に、ASAM 仕様の MDF V4 に沿った計測データの表示と圧縮をサポートしています。選択された信号と時間帯を、元の計測データから容易に抽出して新しい MDF ファイルとして保存するこ

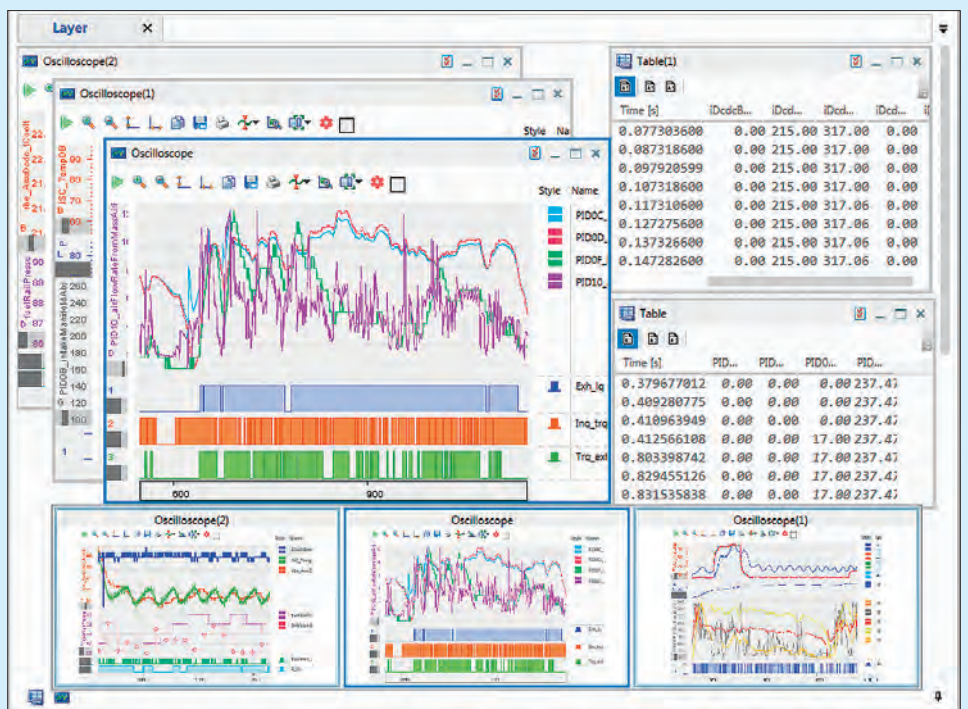
とができます。また、任意のバージョンの MDF 形式を別のバージョンの MDF 形式にファイル変換することもできます。MDA のバージョン 7.2 またはそれより古いバージョンで生成されたコンフィギュレーションデータファイルを MDA V8 でインポートして再利用できます。

新しい MDA バージョン 8.1 の提供は 2016 年 9 月に開始されました。ETAS INCA ユーザーの皆様は、www.etas.com のダウンロードセンターから無料でこの新しいバージョンを手に入れることができます。

このツールを使用すれば、新しい ETAS FETK ECU インターフェイス、ES89x ECU/バスインターフェイスモジュールシリーズ、ETAS INCA V7.2 や新しいドライブレコーダモジュール ES820 の計測から得られる大量のデータを分析することができます。



アナログ信号とバイナリ信号の表示領域を備えたバーチャルオシロスコープ。タイムスライダー（画像下部）を使用すると、時間軸の再配置とスケールが可能



タスクバーにあるワークレベルのインストールのプレビュー